プロダクトマネージャーという言葉を聞いたことはありますか？  
近年頻繁に聞くようになったプロダクトマネージャーとは、どのような仕事内容なのでしょうか。  
今回はプロダクトマネージャーの仕事内容、必要なスキル、プロジェクトマネージャーとの違いを解説します。  
今後エンジニアからプロダクトマネージャーを希望している方、プロダクトマネージャーについての知識をより深く身に付けたい方にオススメの記事です。  
  
特に下記の方にこの記事を一読していただきたいです。  
・プロダクトマネージャーを今後検討している方  
・プロダクトマネージャーとして既に活躍をされている方  
・プロダクトマネージャーの知識を学びたい方

**＜目次＞**[**1.プロダクトマネージャーとは？**](https://freelance-start.com/articles/207#title1)[**2.プロダクトマネージャーの仕事とは？**](https://freelance-start.com/articles/207#title2)[**3.プロダクトマネージャーとプロジェクトマネージャーの違いとは？**](https://freelance-start.com/articles/207#title3)[**4.プロダクトマネージャーに必要なスキルとは？**](https://freelance-start.com/articles/207#title4)[**5.まとめ**](https://freelance-start.com/articles/207#title5)

**1.プロダクトマネージャーとは？**

プロダクトマネージャーとは、設定された目標や目的を実現するために指揮をとる職業です。  
つまり、プロダクトマネージャーは顧客満足度を上げて、最大利益を得るために動く仕事であり、会社の利益を作るために必要なポジションなのです。  
「こんな商品、サービスを実現したい」「世の中をこんな風に変えていきたい」という意思を実現するためにプロダクトという目に見える価値に変換するのがプロダクトマネージャーです。  
プロダクトマネージャーは予算やリソースといった制限を無視して「こんなプロダクトがあれば理想が実現できる」という構想を打ち立てます。

**2.プロダクトマネージャーの仕事とは？**

プロダクトマネージャーの仕事は、プロダクトの責任者であるため、企画立案、デザイン、開発、テスト、リリース、マーケティング、ビジネスまで幅広いプロセスに関わります。  
プロダクトマネージャーは製品を管理するという仕事以外にどんな製品であれば顧客満足度を向上できるのか、どのように販売することが最適なのか等を計画、実行する仕事もあり、マーケティング戦略などを立案していくリーダーという役割があります。  
具体的には、ロードマップの作製・プロジェクトや投資を行う際の戦略上・財務上等の情報・分析を提供するビジネスケースの作成・新商品の開発・市場への投入など上流工程での仕事があります。  
また、プロダクトのライフサイクル管理やブランド管理・効果的な販売戦略を立てるためのマーケティングといった下流工程の仕事もあります。  
つまりプロダクトマネージャーは、製品販売を行っていく際に携わる営業・研究開発・財務・法務と言った様々な部署を取りまとめ方針を決めることが仕事であり、その責任を負う重要なポジションなのです。

**3.プロダクトマネージャーとプロジェクトマネージャーの違いとは？**

この章ではプロダクトマネージャーとプロジェクトマネージャーの違いについて解説します。  
両方ともPMと略されるため混同する人が多いかと思いますが、プロダクトマネージャーとプロジェクトマネージャーは明確に役割が異なります。  
プロダクトマネージャーは、顧客の課題解決のためにどういう商品を作るのかに注力してプロダクトに関わり、プロジェクトマネージャーは品質・開発コスト・リリーススケジュールなどに注力してプロダクトに関わります。

**プロダクトマネージャーの視点**  
・ユーザー課題の解決  
・技術的実現可能性  
・経済性（ビジネスモデル、4P整合性）

**プロジェクトマネージャーの視点**  
・品質（要件の充足と不具合の少なさ）  
・開発コスト  
・リリーススケジュール

プロダクトマネージャーは「何を作るのか」「なぜ作るのか」という「What」「Why」に責任があり、プロジェクトマネージャーは「いつまでに」「どうやって作るのか」という「When」「How」に責任があります。  
いずれもプロダクトが世にでるためには必要な役割であるため、必要とされるスキルは大きく違います。

プロダクトマネージャーとプロジェクトマネージャーは「PM」と省略されることがあり、混同することも多いです。  
混同を防ぐため、プロダクトマネージャーはProductから”d”を取り「PdM」と明確化して記載される事があります。  
なお、プロダクトマネージャーはもともと製造業やメーカーにおいて使用されていた職種だと言われています。インターネットが活発になってきたことを機に、IT/Web業界にも派生しています。

プロジェクトマネージャーについて詳しく知りたい方は下記記事がオススメです。  
[**PMの仕事や役割とは？PMが高単価である理由や参画しやすい地域なども解説！**](https://freelance-start.com/articles/170)

**4.プロダクトマネージャーに必要なスキルとは？**

プロダクトマネージャーとして今後活躍をしていくために必要なスキルを紹介します。  
下記にて紹介するスキルを参考として自分の持っているスキルと照らし合わせてみることをオススメします。

**ロジカルシンキング**  
プロダクトマネージャーは、製品に関するあらゆる工程において現場の様子を観察し、問題点を洗い出します。その後解決策を探り、実行に移ります。そのため業務量の多いプロダクトマネージャーにとってロジカルに物事を捉える能力が必要になります。

**幅広い知識量**  
プロダクトマネージャーは専門分野の知識はもちろんですが、プロダクトの企画〜開発〜マーケティングまで一貫して責任を担うため、ジャンルをこえた知識や情報、スキルがあることが要求されます。例えば製品開発の現場担当者と専門的な議論をすることやカスタマーサポートの責任者と応対品質について議論することもあるためです。  
プロダクトマネージャーとして活躍をするには、幅広い知識を持つ必要があります。

**コミュニケーション能力**  
プロダクトマネージャーにとって、コミュニケーション能力は必要な能力です。  
プロダクトマネージャーは様々な部署と連携を取ることが多い仕事であるため、上手にコミュニケーションを取り、仕事を効率的に進める必要があります。  
また、プロダクトマネージャーは、メンバーをまとめていくことも仕事であるため、リーダシップを発揮するという意味でのコミュニケーション能力も要求されます。

**5.まとめ**

今回はプロダクトマネージャーの仕事内容、必要なスキル、プロジェクトマネージャーとの違いを解説しました。  
プロダクトマネージャーとは、設定された目標や目的を実現するために指揮をとる職業です。  
プロダクトマネージャーとして活躍するために、多くの知識を付けることをオススメします。  
IT人材は今後、益々不足してくと予測されています。市場が拡大するにあたり、動向を確認し常に必要とされるプロダクトマネージャーになりましょう。

この記事はフリーランスエンジニアのための求人・案件一括サイト「[**フリーランススタート**](https://freelance-start.com/)」によって書かれています。

早速、プロダクトマネージャーの求人・案件を見てみる↓